

令和3年度 尾道市立三幸幼稚園教育課程

1 教育目標

(1) 幼稚園の教育目標

- 『遊びを通して 思いや考えを出し合い 友達と協力して 最後まで取り組む子供』
- 好奇心、探求心にあふれる子
 - 友達と一つの目標に向かって思いを伝え合いながら遊びを楽しむ子
 - 最後まであきらめず根気強く挑戦し続ける子

(2) 幼稚園の教育目標を達成するための基本方針

- ◎共有の視点に立って幼稚園・家庭・地域がそれぞれの役割を果たしながら協力し合い、未来を築く幼児の望ましい成長を促し、豊かな人間性を育むため、次の基本方針を設ける。
- 幼児一人一人の特性に応じ、発達に即した指導を行うことで、主体的に遊びに取り組み、自分の力を十分発揮する楽しさが味わえるようにする。
- 友達とのかかわりを遊びや生活の中で豊かに展開し、友達と協同する力を育む。
- 幼児の発達に即した計画の下、体を動かしたくなるような環境を工夫し、心身ともに健康でたくましい幼児を育成する。
- 四季の変化を感じられる自然環境や試行錯誤しながら遊びを作り出せる環境を整え、興味や関心に基づいた直接的な体験を通して、知的好奇心や探究心を育む。
- 小学校や保育所・地域との連携や交流活動を計画的に実施し、人とのかかわる楽しさを味わう中で、道徳性の芽生えを培い、様々な人への親しみや気持ちや思いやりの気持ちを育む。

2 指導の重点

(1) 教育課程の編成、実施にかかわる指導の重点

- 心揺さぶられる体験、面白いことを繰り返す体験、ものや人とかかわりから自分のやり方や思いを表していく体験などを重視し、それら一つ一つが豊かな経験として幼児の心身に蓄えられ、生活や遊びの中で活用していくことができるようにする。
- 発達に即した運動的な遊びを計画的に取り入れると共に、室内外の運動的な遊びを見直すことで、健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出す力を養う。
(健康)
 - 主体性を発揮する遊びを充実させ、自分の目的に向かって粘り強く取り組む力を育てると共に、友達と協同的な遊びを楽しむ中で、様々な感情体験を通して自他を尊重し、人とのかかわる力を育てる。(人間関係)
 - 周囲の様々な環境に好奇心や探求心をもってかかわり、生活や遊びに取り入れる中で、気付いたり発見したりしようとする態度を育む。(環境)
 - 友達や教師に自分の考えを話す経験や遊びの中で友達と話し合いをする経験を積み重ね、言葉に関する感覚や言葉で表現する力を育む。(言葉)
 - 体験したことや感じたことを表現したり、考えたことを実現したりする喜びを味わう活動を通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする。(表現)

(2) 環境の構成

- 遊びが豊かに展開するための必要な経験を計画的に取り入れたり、経験と日々の保育との関連を見直しながら保育を進めたりし、幼児が主体的に遊びを展開していく環境づくりをする。
- 日々の遊びや生活の中で、思いや考えたこと、経験したことなど話し伝え合う場をつくったり、文字などに興味や関心をもったりできるような環境づくりをする。
- 幼児の発達や特性に合わせ、運動能力を高めるような遊びを取り入れ、自ら目標や意欲をもって取り組めるような環境を整える。
- 身近な様々な人とののかかわりをもち、自分の力で行動することができるように様々な感情体験をする機会を大切にする。
- 園外保育や園庭の草花・虫などに触れる機会を設け、季節の変化に気付いたり自然物を遊びの中に取り入れたりして遊べるような環境をつくる。
- 地域の伝統文化に親しみ、体験したことを遊びの中に取り入れられるように工夫する。

(3) その他

- 多様な状況を想定した避難訓練の実施、月一回の安全点検や環境整備の徹底などを通して、職員の危機管理意識の向上を図ると共に、幼児が安全な生活に必要な習慣や態度を身に付けられるよう指導を充実させる。
- 小学生との交流を計画的に行い、憧れの気持ちや年長者とかかわる心地よさを感じられるようにする。
- 小学校・保育所との教職員間で互いの教育内容の共有を図り、協力して、共通認識に立った交流活動や推進に努める。
- 教育活動の様子や幼児の成長の姿など、発信を通して幼稚園・家庭・地域が協力し合って成長を喜び合い、共に共通理解を図る。
- 発達相談・療育施設などと連携を図ると共に、幼児を多面的に理解し、幼児一人一人の発達や特性に応じた指導の充実を図る。
- 地域や保護者の協力のもと、お茶会・お花の教室・とんどなど伝統文化にふれる活動を充実させ、日本の伝統文化のよさや豊かさを感じる。
- よもそろガールズや有道長寿会・岩子島シルバークラブなど地域グループとの積極的な交流や様々な人と触れ合う機会を計画的に設定し、地域を愛し、地域の人々への親しみや思いやりの気持ちを育む。

◎研究主題 「考えを出し合いながら友達と一緒に遊びを創造する子供の育成」
サブテーマ ～記録や保育カンファレンスを通して～